



学校だより 深町小学校
平成29年10月3日号
文責 校長 河谷正弘

学校教育目標
「豊かな人間
確かな実践力をもつ 児童の育成」



3つの花を、大きくさかせましょう。



〇〇喜びの秋、夢中になれる秋〇〇〇

あっという間に9月が終わり10月になりました。10月の声を聞き、朝夕はめっきり涼しくなってきました。学校や地域では、様々な行事や催し物が計画されています。それぞれの場面で子どもたちが活躍する機会がたくさんあります。その姿をしっかりと見て、たくさんの励ましの言葉のシャワーを子どもたちに届けたいと考えています。

9月30日の土曜日授業では、人権教育をテーマに学習参観・学級懇談会を実施いたしました。たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。各学級では、道徳の時間の教材を使って、「思いやり」「親切」「人権の大切さ」「それぞれの生き方」について学習をしました。

さて、次回、保護者の皆様にご来校いただくのは、11月4日(土)の学習発表会です。10月23日(月)から2週間の練習が始まります。どうぞお楽しみにしてください。



この「もったいない」という日本語を、世界に通じる言葉にしようとした人がいます。

その人の名前は、アフリカ・ケニア出身でノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんという女性です。マータイさんは、様々な国際会議で「もったいない」という言葉とその意味を全世界に発信しました。そして、今や海外の人々も「もったいない」という言葉を使うようになってきました。

「1日に2万4千人」何の数字でしょうか。

これは世界中で食べるものがなくて亡くなってしまふ子どもの数です。10分間で160人、1時間で約1000人も尊い命が失われているというのが現実だということです。

今、日本では、食べ物がなくて命を失ってしまう子どもは滅多にいないでしょう。お金さえ出せば、いつでも何でも何不自由なく食べることができます。その一方で、日本は、世界でも一番食べ物を無駄に捨てている国だとも言われています。まだ食べられるものや食べ残しを入れると、1年間でごみとして捨てられる食べ物の量は、国民一人当たり170キログラムにもなるそうです。

食べるものがなくてかけがえのない命を失ってしまう子どもたちに、捨てられる食料を分けてあげることはできないのでしょうか。



本当に必要な食料だけを買う、平気で食事を残したり捨てたりしないという「もったいない」精神を発揮すれば、日本の国一つだけで、食べ物がなくて亡くなってしまふ全世界の子どもたちを救うことができるといわれています。

給食や家庭での食事、おやつなどを食べる時、世界の子どもたちに思いをはせながら、このお話を思い出してほしいと思います。

□□ もったいない □□

秋と言えば、どんな秋を思い浮かべられるでしょうか。

「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」などいろいろな「秋」がありますが、ここでは「**食欲の秋**」にちなんで「もったいない」という言葉について考えたいと思います。

「もったいない」という言葉をどんな時に使うでしょうか。お金を無駄遣いしてしまった時、まだ使えるノートや鉛筆を新しいのに取り換えてしまった時など、いろいろな「もったいない」を経験していることと思います。



日	曜日	10月 行事予定	日	曜日	10月 行事予定	日	曜日	10月 行事予定
1	日	若小Pソフトボール大会	12	木	なかよし掃除 クラブ活動	23	月	学習発表会練習開始
2	月		13	金	3年社会科見学	24	火	
3	火		14	土		25	水	
4	水		15	日		26	木	
5	木	委員会活動	16	月	1年・2年・たんぽぽ学級 保幼小交流会	27	金	交通安全指導
6	金	6年陸上記録会<本城陸上競技場>	17	火	5年自然教室<玄海青年の家>	28	土	
7	土		18	水	5年自然教室<玄海青年の家>	29	日	
8	日		19	木	代表委員会	30	月	学校開放週間(11月4日まで)
9	月	体育の日	20	金		31	火	
10	火	こころのそらたん 6年キャリア教育	21	土		11月予定		
11	水	なかよし広場 陸上記録会予備日	22	日		4日(土) 学習発表会(保護者観覧日)		

